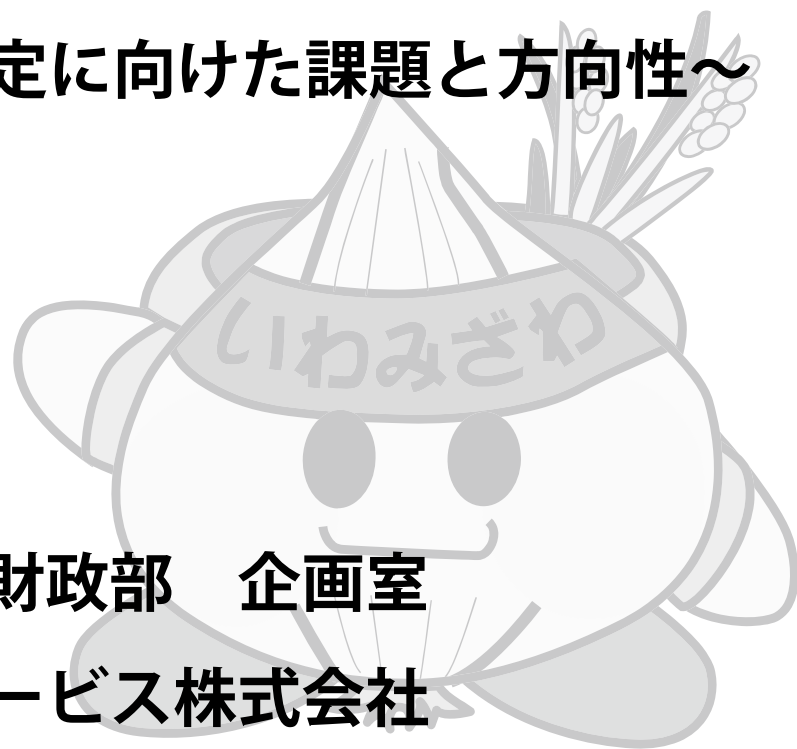


# 岩見沢市生活交通ビジョン構想（案）策定資料

～生活交通ビジョン構想（案）策定に向けた課題と方向性～

◆ 【委託者】 岩見沢市 企画財政部 企画室

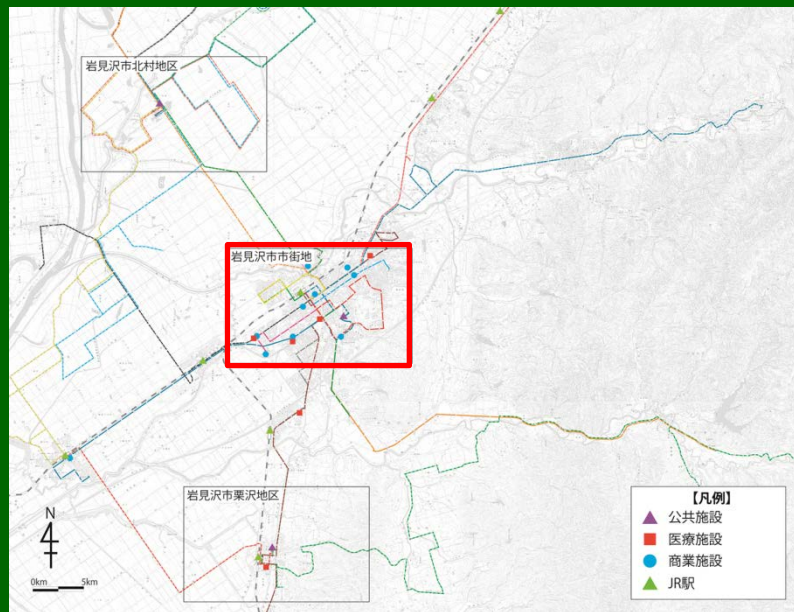
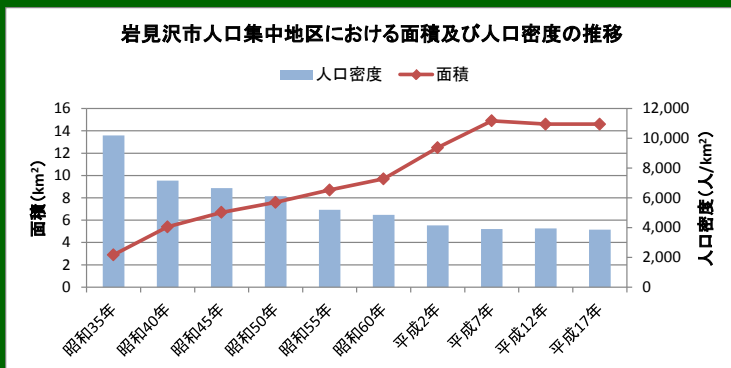
【受託者】 日本データサービス株式会社



## ◆コンパクトで移動しやすいまちづくりの推進

### 【岩見沢市中心市街地活性化基本計画より】

- ・岩見沢市の人口集中地区の人口密度をみると、昭和35年以降、人口集中地区の面積の拡大に対し、人口は減少しており、平成12年で4,000人/km<sup>2</sup>以下にまで落ち込み、**郊外部への都市の拡大**がうかがえる。



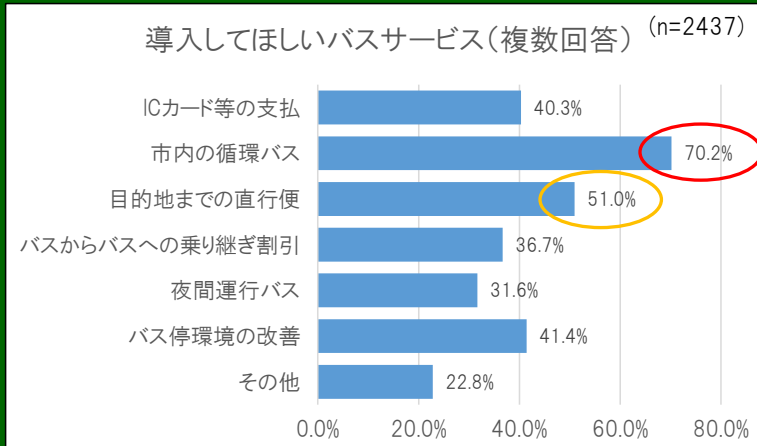
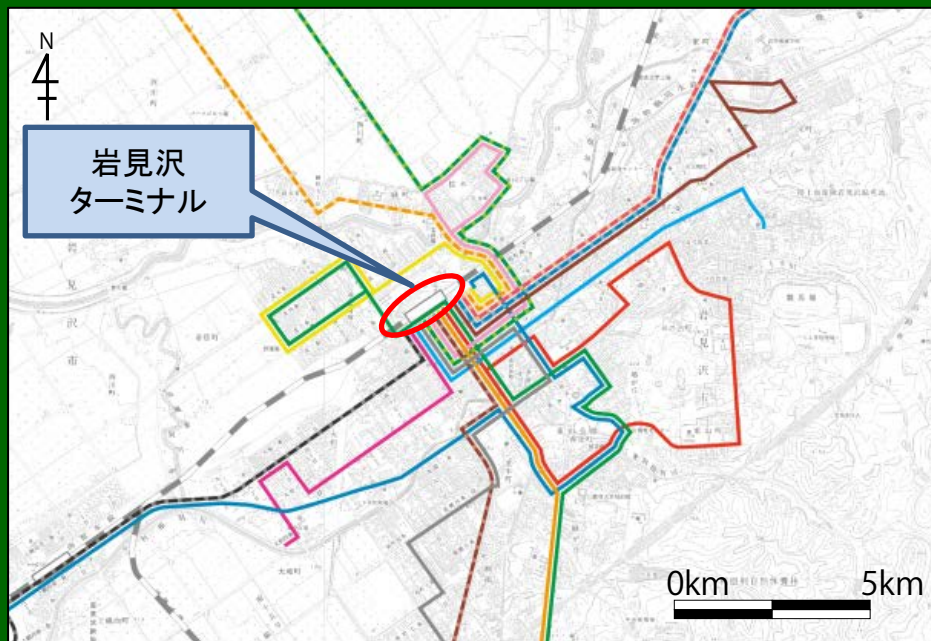
### 【都市・交通情勢より】

- ・岩見沢市の人口は、平成7年以降減少しており、将来的にも減少が予測されている。
- ・一方、高齢者人口割合は平成27年1月時点で3割を超えており、特に北村地区と栗沢地区の高齢者人口割合は約4割となっている。
- ・医療施設や商業施設等の都市機能は市街地へ集積している。

### ◆市民ニーズに即したバス交通のシームレス化

#### 【都市・交通情勢より】

- ・岩見沢市内を運行する路線バスは、岩見沢ターミナルを起終点としていることから、市内の東西の移動は岩見沢ターミナルで乗り継ぎが必要となる。



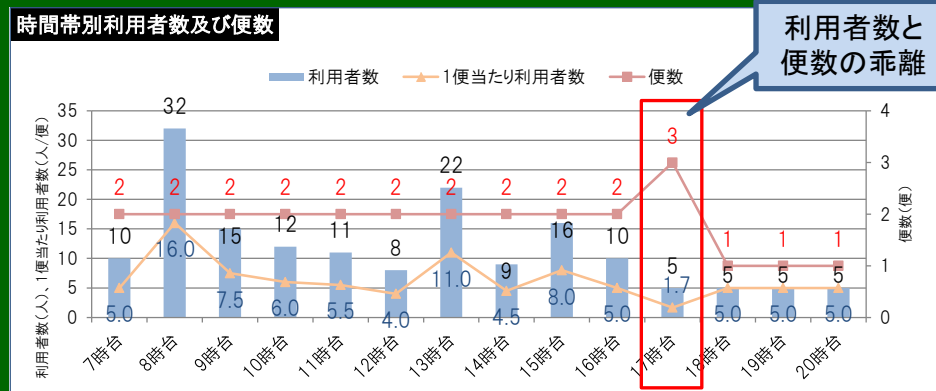
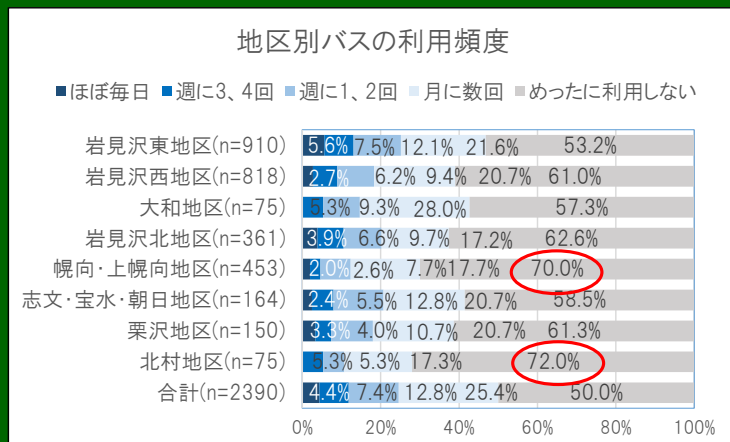
#### 【住民ニーズ把握調査より】

- ・導入して欲しいバスサービスとして、『市内の循環バス』や『目的地までの直行便』が挙げられている。

## ◆利用実態に即したバス交通体系の構築

### 【住民ニーズ把握調査より】

- ・バスの利用頻度を地区別にみると、北村地区、旧岩見沢地区郊外部で『めったに利用しない』の割合が高く、利用頻度の低下がうかがえる。



参考：かえで団地線（国道経由）

### 【バス乗降調査より】

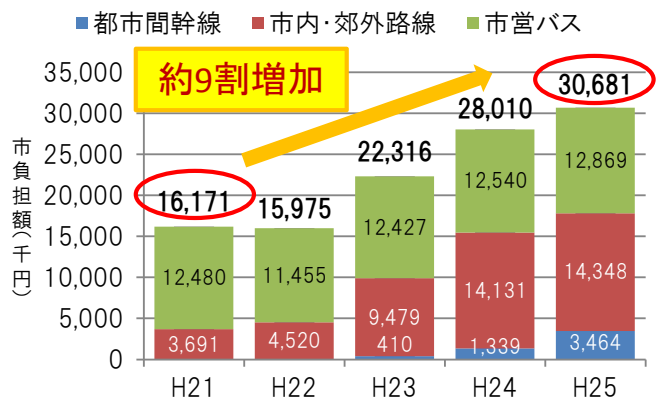
- ・北村地区、栗沢地区を運行する市営バスは利用者が少なく、路線長が長いなど、非効率的な運行形態となっている。
- ・岩見沢市内を運行する路線バスには、利用者の少ないバス停が存在している。
- ・利用者が少ない時間帯に運行便数が多い場合や、反対に、利用者が多い時間帯に運行便数が少ない場合など、市民の移動実態と現状バスサービスを比較すると、乖離がみられる。

## ◆交通弱者の増加を見据えた郊外部における持続可能な「生活の足」の確保

### 【都市・交通情勢より】

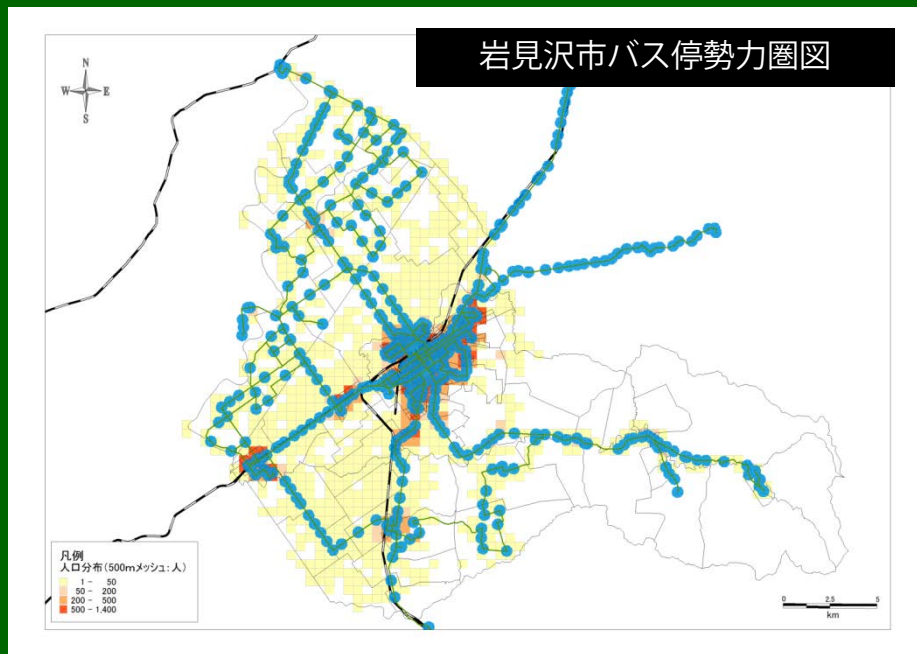
- ・岩見沢市の高齢化の進行を踏まえると、**自動車を運転することのできない交通弱者の増加が懸念される。**
- ・市内を運行する**バス路線の維持に係る市負担額は年々増加傾向にある。**
- ・北村・栗沢地区、旧岩見沢地区郊外部においてバス停が自宅付近にない**交通空白地域が存在している。**

岩見沢市内を運行する路線バスに対する補助金等の市負担推移



### 【住民ニーズ把握調査より】

- ・路線バスが無くなると困るとの回答が市内各地区で多くなっており、**バス交通の必要性の高さがうかがえる。**



# 岩見沢市の交通課題

## ◆市民ニーズに即した生活交通サービスの改善

### 【岩見沢市中心市街地活性化基本計画・バス乗降調査より】

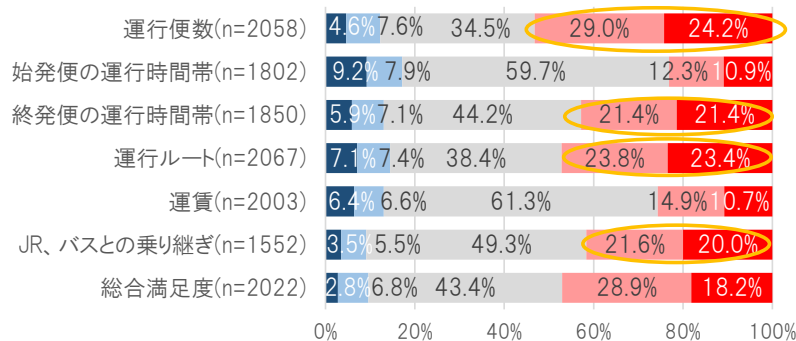
- ・岩見沢市内を運行する路線バスは、岩見沢市と同規模の他自治体と比較しても終発時間が早くなっている。

### 【住民ニーズ把握調査より】

- ・岩見沢市のバスサービスについて、『運行便数』や『終発時間帯』等に対する不満が高くなっている。
- ・導入して欲しいバスサービスとして、『夜間バス運行』が挙げられている。

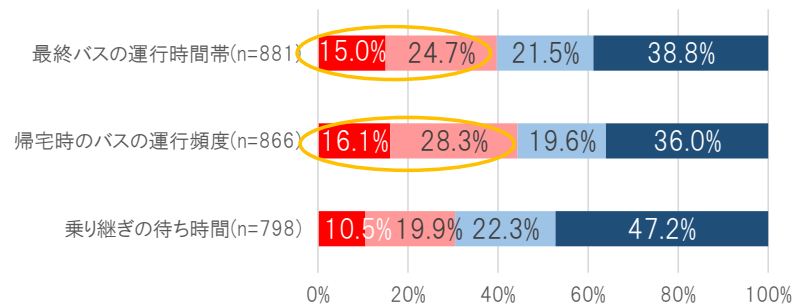
岩見沢市のバスサービスに対する満足度

■満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満 ■不満



バスの運行状況が与える帰宅手段選択への影響

■かなり影響がある ■影響がある ■あまり影響ない ■影響ない



### ◆バス利用機会・交流機会の増加に寄与する取り組みの実施

#### 【岩見沢市中心市街地活性化基本計画より】

- ・バスを利用しづらい理由に、『**運行経路がわかりづらい**』が挙げられている。
- ・中心市街地における居住人口の減少や高齢化の進行から、コミュニティ機能の低下が懸念されており、『**新たなふれあいや交流を育む場の整備**』が求められている。

#### 【住民ニーズ把握調査より】

- ・導入して欲しいバスサービスとして、『**ICカードの導入**』が挙げられている。

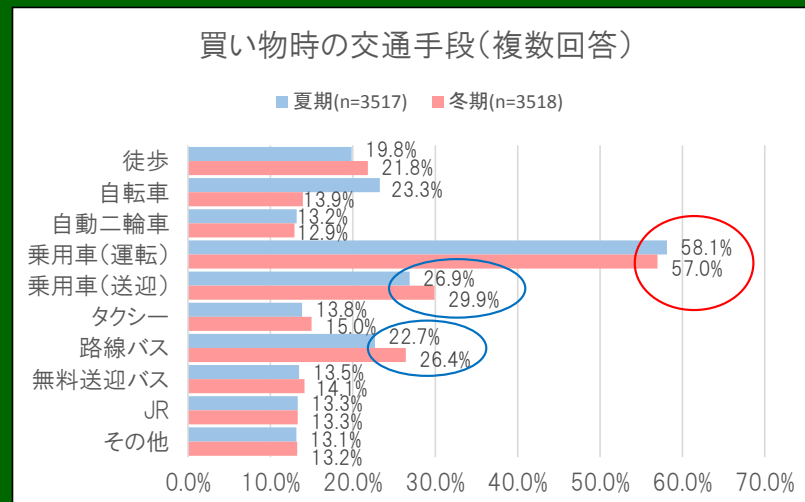
### ◆過度な自動車依存からの脱却

#### 【新岩見沢市総合計画基本計画より】

- ・**高齢化の進行や環境問題への意識の高まり**などにより、自家用車の運転を止める・控える人の増加が予想される。

#### 【住民ニーズ把握調査より】

- ・買物・通院時の交通手段は自動車による移動が多く、『**岩見沢市においても自動車依存型社会が定着している状況**』が見受けられる。



## 【問題点】

中活計画	郊外部への都市の拡大
都市交通	人口減少、高齢化の進行
都市交通	都市機能の市街地への集積

都市交通	市内の東西の移動は岩見沢ターミナルで乗り継ぎが必要
住民ニーズ	「循環バス」や「目的地までの直行便」の要望

住民ニーズ	郊外部のバス利用頻度の低下
バス乗降	北村地区、栗沢地区における非効率なバス運行
バス乗降	利用者の少ないバス停の存在
バス乗降	現状バスサービス（時間帯別運行便数）と市民の移動実態の乖離

都市交通	高齢化の進行に伴う交通弱者の増加
都市交通	バス交通に対する市負担額の増加
住民ニーズ	バス交通の必要性が高い
都市交通	北村・栗沢・幌向・上幌向地区における交通空白地域の存在

バス乗降 中活計画	終発時間の早いバス交通
住民ニーズ	現状バスサービス（運行便数、終発時間帯等）への高い不満
住民ニーズ	「夜間バス運行」の要望

中活計画	『まちなか』における分かりづらいバス運行経路
中活計画	まちなか拠点の交流機能の不足
住民ニーズ	「ICカードの導入」の要望

総合計画	自動車による環境負荷の増大
住民ニーズ	自動車依存型社会の定着

## 【課題】

1. コンパクトで移動しやすいまちづくりの推進

2. 市民ニーズに即したバス交通のシームレス化

3. 利用実態に即したバス交通体系の構築

4. 交通弱者の増加を見据えた郊外部における持続可能な「生活の足」の確保

5. 市民ニーズに即した生活交通サービスの改善

6. バス利用機会・交流機会の増加に寄与する取り組みの実施

7. 過度な自動車依存からの脱却

## 【基本方針】

**基本方針 1**  
コンパクトな都市を形成する新たな公共交通網の構築

【施策内容】

- ・ 既存公共交通網の再構築を検討
- ・ 効率的な乗り継ぎポイントや循環路線の検討
- ・ 将来の人口分布等を見据えた路線の検討

**基本方針 2**  
地域特性を考慮した効率的で持続可能な公共交通体系の構築

【施策内容】

- ・ 市営バスの必要性の検討
- ・ 交通空白地域への対応

**基本方針 3**  
市民生活の質の向上に資するバスサービスの提供

【施策内容】

- ・ 既存バス路線における終発時間帯のバスサービス改善を検討

**基本方針 4**  
バス交通の利用促進策の展開

【施策内容】

- ・ 市内路線を網羅したバスマップの作成・配付の検討
- ・ ICカード等の導入検討
- ・ 既存施設を活用したまちなか交流拠点の創出
- ・ ICTを活用した利用しやすい検索システム（路線・運行時間）の検討
- ・ バス停などバス待ち環境の改善に関する検討
- ・ その他、バス利用環境の向上に関する施策の検討



## 基本方針1 コンパクトな都市を形成する新たな公共交通網の構築

### 【施策内容】

#### ◆既存公共交通網の再構築の検討

⇒バス交通を活用した市街地の移動の利便性向上を図る。

#### ◆効率的な乗り継ぎポイントや循環路線の検討

⇒現状、路線バスを活用した移動は岩見沢ターミナルで乗り継ぎが必要となっている。

そこで、目的地への移動の利便性向上に資する乗り継ぎポイントや市街地の利便性を高める循環路線の導入を検討する。

#### ◆将来の人口分布等を見据えた路線の検討

⇒潜在的なバス利用者となる高齢者や学生などの将来的な人口分布のほか、新たな道路整備や冬期間の状況など、都市計画の視点から必要となるバス路線を検討する。

### 基本方針2 地域特性を考慮した 効率的で持続可能な公共交通体系の構築

#### 【施策内容】

##### ◆市営バスの必要性の検討

⇒利用者が減少している北村地区及び栗沢地区の市営バスの必要性、公平性から、代替施策を検討する。

##### ◆交通空白地域への対応

⇒郊外部における生活の足を確保するため、予約運行型のバス又は乗合タクシーの導入について検討する。

### 基本方針3 市民生活の質の向上に資するバスサービスの提供

#### 【施策内容】

##### ◆既存バス路線における終発時間帯のバスサービス改善を検討

⇒既存バス路線は、他自治体と比較し終発時間が早くなっている。そこで、市内を運行するバス路線の終発時間や運行便数等バスサービスの改善を検討する。

### 基本方針4 バス交通の利用促進策の展開

#### 【施策内容】

- ◆市内路線を網羅したバスマップの作成・配布の検討
- ◆ICカード等の導入検討
- ◆既存施設を活用したまちなか交流拠点の創出
- ◆ICTを活用した利用しやすい検索システム（路線・運行時間）を検討
- ◆バス停などバス待ち環境の改善に関する検討
- ◆その他、バス利用環境の向上に関する施策の検討